



コミ・プラ
マスコットキャラクター
「ホッホ君」



公民館
Instagram

ふじみ町 公民館報

〒399-0211

長野県諏訪郡富士見町富士見 3597-1

コミュニティ・プラザ内 富士見町公民館

Eメール: kouminkan@town.fujimi.lg.jp

No.742

令和7年9月1日

発行 富士見町公民館

編集 公民館報編集委員会

TEL 0266(62)7900

FAX 0266(62)7611

みんなで創った活動スペース ハケ岳南の学校/もくもく/アートカレッジちゃお



高原晴雨

日本人は、昔から四季折々の自然の移ろいを敏感に捉え、楽しんできた。有名な清少納言の『枕草子』は、「春はあけぼの……」と始まり、春夏秋冬が美しい言葉で生き生きと描かれていて、それぞれの季節の様子がありありと目に浮かんでくる。

近年は季節の変わり目がはつきりせず、特に、夏が長くて秋の始まりがよくわからないような気がする。秋を代表する花といえば、やはり、コスモスではないかと思う。日本には明治時代にイタリアから渡来したそうだが、秋の季語にもなっている。もっとも、最近は品種改良により、早生種もあるので、夏から咲き始めている姿も多く見かける。名前の由来は、花びらが整然と並ぶ様子からギリシャ語のコスモス（宇宙の秩序）に例えられたといわれている。また、「秋桜」という和名は、さだまさし作詞・作曲で、山口百恵が歌った曲により、広く知れ渡るようになった。

コスモスの花ことばは、花色により、「調和」「秩序」「乙女の真心」「平和」「謙虚」「美しさ」などがあるが、個人的には「平和」がふさわしいと思っている。それは、50年くらい前から、小学4年生の国語教科書に掲載されている『一つの花』（今西祐行・作）という児童文学に出会ったことからである。

これは、戦争のさなか、食べ物もあり手に入らない生活の中で、最初に覚えた言葉が「一つだけちょうだい」と言う幼いゆみ子に、一輪のコスモスの花を与えて、お父さんは戦争に行ってしまうという、平和への願い、幸せへの祈りが込められた切なくも優しい物語となっている。

戦後80年を迎えた今年、コスモスの花が風に揺れる姿を見るにつけ、平和への思いを強く感じずにはいられない。

山口 美佐子

みんなで創った活動スペース

今回は、信濃境で「NPO法人ちやお」が運営しているもくもく（就労継続支援B型）と、アートカレッジちやお（福祉型専攻科・学びの作業所）とボランティア団体八ヶ岳南の学校の活動を紹介します。

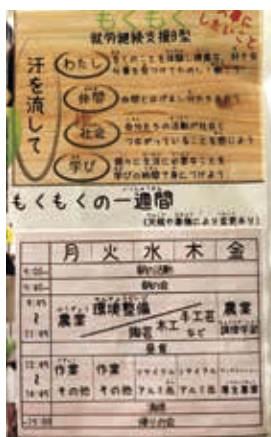
JR信濃境駅近くにある郵便局裏手の道を線路に沿って進んでいくと、線路にかかる橋の手前に《八ヶ岳南の学校》という看板のある建物が見えてきます。その手前の無人販売スタンド近くには『もくもく商店』と書かれたのぼりが立ててあり、季節の野菜や陶器



活動の中心の場となっている建物

のうつわなどの品々が並んでいます。さらにその奥のネットに囲われたゆったりスペースには烏骨鶏が飼われていて、二階のデッキでは時期が来るとたくさんのかかしが吊るされます。この建物はどのような活動をしているところなのか、代表の皆さんに、これまでの経緯を伺いながら案内していただきました。

平日は作業所へもくもくの活動の場（2019）



もくもくが目指していることと時間割

「もくもく」というユニークな名前の由来は、「私も働きたいな」という思いがもくもくと湧いてきたという表現からのことばなのだそうです。得意な仕事や向いている作業を先生やボランティアの方々のサポートと共にしながら、仲間と共に協力して学び合い、経済活動を通して社会とつながる場所となっています。

普段の主な仕事は委託された場所での草刈りや販売するための農作物を育



雨の日の作業の様子

てる畑での作業とのことですが、私が伺った日は雨で草刈りは中止だったので、入ってすぐの広い部屋では大きなテーブルで数名の方々がナタで竹を割ったり、陶芸のための粘土を叩いたり、のびたりしていて賑やかでした。その隣の部屋では、年末に製作販売する門松用の飾りを作っていたり、さらにその奥ではミシンを使って布小物を作る方々もいました。さらに外にはリサイクルのための空き缶潰しの場所があったり、木製の箱や台を製作する木工作業室もあります。

季節によっては梅の選別や干し柿づ



もくもく商店の販売スタンド

くりなど、やりたい気持ちがあればいろいろなことに挑戦できます。ここでの日々を何を生みだす時間として使いたいかをそれぞれの方が決めて生産活動しているのが印象的でした。



リサイクルのためアルミ缶を潰します

土日は八ヶ岳南の学校として

看板にある《八ヶ岳南の学校》は、富士見町にある諏訪養護学校を退職した先生方と同校卒業生とで、20年近く前にボランティア団体として始まりました。卒業しても仲間と共に楽しく過ごせる居場所であり、新しい職場に馴染めず仕事をやめてしまった人も再スタートできるような、心に寄り添う支援ができる青年学級をとの熱い思いから生まれました。

今では一つ屋根の下で日々様々な活動がおこなわれていますが、この建物

を借りた当初は、かつては商店として使われていた古い内装を新しくする必要がありました。地域の設備屋さんトイレの水回りを修理してもらい、自分たちで床を板張りにしたり壁にペンキを塗ったり、ほぼボランティアでみんな協力し、活動のための場所を整えたそうです。

現在の活動は土日のどちらかで余暇活動が主になっているそうです。



帰りの会でその日やったことをシェアします

アートカレッジちやお(2015)

こちらは信濃境の町営住宅の一棟を使っている、中は風通し良くゆったりした明るい室内です。伺った時は利用者の方々は絵を描いたり読書をしたり、思い思いの過ごし方をされています。

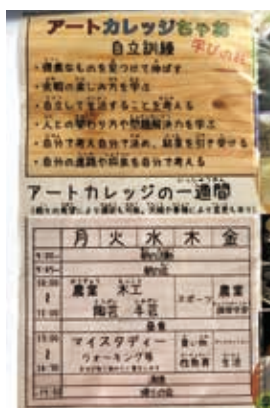
した。

ここは自立訓練(生活訓練)を柱とした、基本的には二年間の学びの場で、定員は6名です。おもに、養護学校高等部を卒業してすぐの人、同校卒業後就職したけれど馴染めず辞めた人、高校卒業後引きこもっていた人などが通っています。



アートカレッジちやおの活動の場

開所前には、諏訪養護学校卒業生の保護者・有志の教職員の方々がNPO法人ちやおを立ち上げ、他県の施設への視察や先駆者の方を招いての講演



ちやおが目指していることと時間割



鉄道愛が感じられる作品

会・学習会などの準備期間を経て、長野県内で初めて福祉型専攻科(学びの作業所)として開設されました。特徴は、カリキュラムありきの学校ではなく、一人ひとり着地点の異なる自立を目指す学びの場ということ です。職員の方々は、それぞれの人ので きるようになりたいことや、時にはネガティブな心の状態や葛藤にも一つ一つ丁寧に付き合っ てサポートを行っているとのことでした。いままでには、お金の計算や時計の見方、カラオケ体験やファンクラブの入り方、長野への一人旅など様々な「できるようにしたい」「やってみたい」があったそうです。このような取り組み方をしている、型にはまらない学びの場は、関心ある方も多いのではないのでしょうか。

あとがき

以前から建物の前を通って気になっていたのですが、3月にアグリモールのエコープ前で年に一度の即売会をしている『もくもく』の皆さんに出会い、これを機に取材させていただきました。お話を聞くほどに、ここは善意や暖かい思いでできている場所なのだと感じました。

このような場と環境を維持管理していくことの大変さに今も直面していることです。利用者の方々が時にはケンカしながらもいきいきと活動する貴重な場がありつづけてくれることを切に願います。



陶芸を専攻した先生のもとで作った植木鉢。重厚感があります

おすすめ Book

★電話・WEB または
カウンターでご予約ください

小説 『汚名』

和田 はつ子 著

江戸で初めての種痘所設立、蘭学医で初の奥医師登用…数々の功績は、彼のある覚悟ゆえに成し遂げられた。佐賀の貧しい農家に生まれた伊東玄朴は、シーボルトの弟子になり、江戸参府に随行する。シーボルト事件に巻き込まれ、玄朴はお咎めなしとなったものの、義兄源三郎は獄死してしまう。江戸で医者として開業した玄朴は、当時猛威を振るっていた天然痘に立ち向かうため、種痘所の設立を決意。権力者の横槍、漢方医たちの妨害、家族の冷たい目と逆境の中、出世と金にしか興味がない男との悪評を浴びつつも、彼が貫いた決意とは。天然痘と闘い続けた医師・伊東玄朴。その「誤解」に満ちた生涯の物語。

9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

■ 図書館・博物館…休館日

■ 図書館のみ…休館日（博物館は開館日）

■ 20冊貸出

富士見町図書館HP



イベント情報

●としょかんめぐり スタンプラリー

ハヶ岳定住自立圏（北杜市・富士見町・原村）の3エリアの図書館をまわって、スタンプを3つ集めると、オリジナルプレゼントがもらえます。ステキな本との出会いを求めて図書館巡りしてみませんか？

期 間：8月1日(金)～10月31日(金)まで

●9月20日(土)

秋の図書館まつり

時 間：午前11時～11時45分

場 所：コミュニティ・プラザ 2階 大会議室

申 込：不要

内 容：パネルシアター、大型絵本の読み聞かせなど

協 力：ふじみ子どもの本の会

●9月30日(火)

のりものおはなし会(はたらくるま)

時 間：午前11時～11時45分

場 所：コミュニティ・プラザ ロビー

申 込：不要

のりもの絵本の読み聞かせのあとに、はたらくるまがやってきます。

写真を撮ったり、乗ることもできます。

問 富士見町図書館 ☎62-7930

博物館

(富士見町高原のミュージアム) ☎75-5735

みやこしあきこ絵本原画展 期間：9月15日(月・祝)まで 「なにげないけど、いとおしい」

やわらかな木炭の線、鉛筆の陰影、鮮やかな色彩が幾重にも重なるリトグラフやデジタル作品—みやこしあきこさんの絵本原画やスケッチから一枚の絵に込められた物語の世界を紹介します。『ちいさなトガリネズミ』などで国内外の賞を多数受賞されています。ささやかな日常の中のいとおしい瞬間をすくい取り、丁寧に描き出す作品をぜひご覧ください。富士見町での出産祝、入学祝のメッセージカードはみやこしあきこさんの作品が使用されています。

■ 場 所 富士見町高原のミュージアム（コミュニティ・プラザ2階）

■ 開館時間 午前10時～午後5時（入館午後4時30分まで）

■ 休 館 日 月曜日（月曜が祝日の場合は翌日） 祝日の翌日（土日祝の場合は開館）、12月28日～1月4日

■ 入 館 料 大人300円、子ども150円 諏訪地域の小中学生は無料

➡右上の招待券を切り取ってお持ちください。町内1家族まで無料にてご覧いただけます。



印刷・複写不可
招待券
博物館企画展